



～2016年度大和エリア年間テーマ～「産地の心、商品の物語を、地域に伝えよう」

備えていますか？災害に

トイレット問題について



8月3日(水)、大和市消費生活展に、大和市生協運営協議会が「知っておくと安心 災害時に備えよう」をテーマに出展しました。

また、パルシステム神奈川ゆめコープの全エリア経営会議から、活動組員が出席している「テーマ別連絡会」という会議でも、災害時の備えについてアイデアを出し合いました。

避難所ではみんなが被災者であることから、行政に頼るばかりでなく、被災者自身が避難所を運営することが求められます。

各自治体でもさまざまな防災の取り組みや講座が行われているので参加してみたいかでしょうか。

震度5以上の場合はトイレの水は絶対に流さない。下水管が破裂している場合があります、汚水が漏れる可能性があります。

市販の携帯トイレ等を準備しておきましょう。ほかにもいろいろな方法を知っていると、助けになるところがあるかもしれません。

- * 大小の段ボールを組み合わせてトイレを作る (隙間にも高さをそろえた端切れを詰め込む)
- * 猫のトイレ用の砂を段ボールトイレに使う
- * おとな用紙おむつを使う

…などのアイデアも出ました。(EM)

段ボールで作ったトイレ



ハートカフェ

7月23日(土)、新しく開発された海老名駅西口で、ハートカフェが行われました。私はフェアトレードの小物などを買い、憲法カフェと“すたんどばいミー”のお話を聞いて、楽しみました。

すたんどばいミーは、主に大和市渋谷中学校を会場として活動し、昨年の大和センターまつりにもスイーツ販売で参加してくれました。近辺の団地には、外国籍の家族が多く居住しており、当事者の先輩たちやボランティアが、学習の補助や、日本語指導、進学相談など生活全般にわたっての補助や相談を受けています。ボランティアも募集中です。(EM)

バングラディッシュの手づくりマスコットとラオスのコーヒー



神奈川すくすくパン豚登録者限定 バーベキュー交流会

8月24日(水)、清川村にて、神奈川すくすくパン豚バーベキュー交流会が行われました。清川村は、神奈川県唯一の村で、本厚木駅からバスで30分あまりのところにあります。緑がいっぱい、川のせせらぎの音が涼やかでした。参加者は、高倍率の抽選で当選したラッキーな30名。生産者の山口養豚場の方々と、とても楽しい時間を過ごしました。すくすくパン豚の特徴は、脂身に甘味があること！飼料にパン粉と米を配合することで、甘味がでるそうです。そして、お米やパルブレッドのパンの余剰分を利用することで、国内自給率のアップにもつながりますし、何を食べて育てているのか見えるのも安心ですね。

私のイチオシのすくすくパン豚は、月に1回、通年のお届けで、事前登録制なので、次の登録の機会をお見逃しなく！(EI)



メンバーのお気に入り vol.65

私のお気に入りは、(株)みそ半の『島原手延べそうめん』です。国産小麦粉100%で、塩は『海はいのち』を使っています。ゆで時間が90秒と短く、弾力やこしがあってとてもおいしいです。ねぎ、おろししょうが、大葉、みょうが、モロヘイヤ、きざみオクラなど薬味や夏野菜を組み合わせ食べています。シーズンが再開したら、ぜひ利用してみてください。(TH)

